



一般社団法人 国際口腔インプラント学会  
ドイツ口腔インプラント学会 日本支部



DGZI  
とは…

ヨーロッパで最古の歴史を誇るインプラント学会。ドイツにおいて約4,000名、世界中に66か国、計14,000名以上の会員がいます。この学会の認定証を取得する事は、インプラント専門医として、大きな信頼と社会的な評価というステータスが与えられることとなります。

2021

3.21

国際口腔インプラント学会・ドイツ口腔インプラント学会日本支部

# 仙台学術 講演会

## マイクロスコープを用いた近代歯内療法の発展と課題

**齋藤正寛** 先生

東北大学大学院歯学研究科 口腔修復学講座 歯科保存学分野 教授

略歴

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 平成元年  | 神奈川歯科大学卒業                       |
| 同年    | 保存修復学教室入局 助手                    |
| 平成6年  | 米国ワシントン州立大学 医学部病理 留学            |
| 平成8年  | 歯科保存学講座 講師                      |
| 平成18年 | 大阪大学 大学院歯学研究科生化学教室 講師           |
| 平成21年 | 東京理科大学 基礎工学部生物工学科 准教授           |
| 平成25年 | 東北大学大学院歯学研究科 口腔修復学講座 歯科保存学分野 教授 |



## インプラント周囲炎の原因となる歯科医療を考える

**鬼原英道** 先生

岩手医科大学 歯学部 補綴・インプラント学講座 特任教授

略歴

- |       |  |
|-------|--|
| 平成11年 | 日本大学 歯学部 卒業  |
| 平成17年 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科インプラント学分野 修了                    |
| 平成18年 | 東京医科歯科大学 歯学部附属病院インプラント外来医員                         |
| 平成21年 | 岩手医科大学 歯学部 口腔インプラント学分野 講師                          |
| 平成26年 | 岩手医科大学 歯学部 補綴・インプラント学講座 准教授                        |
| 平成28年 | ハーバード大学歯学部 Visiting Associate Professor (H29年8月まで) |
| 平成31年 | 岩手医科大学 歯学部 補綴・インプラント学講座 特任教授 (現職)                  |



会場

仙台市中小企業活性化センター  
AER6F

仙台駅から徒歩2分

仙台市青葉区中央1-3-1  
Tel : 022-724-1200

DGZI  
JAPAN section

3/21 (日) ISIO & DGZI Japan section  
認定試験

同時  
開催

Authority of Implantology (指導医)  
Clinical of Implantology (認定医)  
認定歯科衛生士  
インプラントコーディネーター

10:00 ~

13:00-14:40

## マイクロスコープが生み出した歯科治療のパラダイムシフト

東北大学大学院歯学研究科 口腔修復学講座 歯科保存学分野 教授 齋藤 正寛

マイクロスコープによる“見える化”は歯内療法を中心とする歯科治療のみならず衛生士による口腔ケアにまで適応が拡大され、各々精度の高い医療サービスを提供できる様になりました。歯内療法の場合は、湾曲根管の治療時に発生する穿孔、ジップ、レッジ、トランスポーテーション等を含む根管逸脱を原因とする根尖性歯周炎を解決手段として、根管を“見える化”治療することで治療成績を向上させました。従って近代歯内療法においてCBCTによる診断技術、マイクロスコープ、Ni-Tiロータリーファイル、超音波洗浄を用いた根管系から逸脱せずに感染源を取り除く治療技術は、高い成功率を可能にする必須の機器となります。また根管治療で解決できない症例に関しては、マイクロスコープを用いた歯根端切除術で根尖歯周組織を“見える化”することで、病変を低侵襲に摘出し歯を保存する治療の適応を拡大する事が出来ました。口腔ケアの場合は歯及び歯肉周辺に付着しているバイオフィルムを顕微鏡で“見える化”することで、より精度の高いクリーニングを可能にしました。このようにマイクロスコープは従来の歯科治療の概念を変えるパラダイムシフトを引き起こし、治療成績の向上に大きく貢献しています。北米、欧州で開発されたマイクロスコープを用いた歯科医療は日本のみならずアジア各国でも導入され、今後さらなる普及が期待されています。

東北大学病院保存修復科ではマイクロスコープを用いた歯内治療の標準治療技術を導入し、一般から全身疾患を有する患者にまで幅広く対応可能なことを確認しています。また独自の口腔ケア事業も展開しており、ここでも顕微鏡を導入し精度の高い口腔管理技術が患者管理に及ぼす影響を調べています。

そこで本セミナーでは、近年普及しているマイクロスコープを用いた歯内療法を中心に、過去の歴史からパラダイムシフトに至った経緯をお話したいと思います。また私共が取り組んでいる口腔ケア事業に関してもご紹介させて頂きます。

15:00-16:40

## インプラント周囲炎の原因となる歯科医療を考える

岩手医科大学 歯学部 補綴・インプラント学講座 特任教授 鬼原 英道

1965年にBränemark教授が純チタン製デンタルインプラントの臨床応用を開始して半世紀以上の年月が経つ。PubMedによる文献検索では、“Dental Implant”の用語にヒットする文献は2019年10月現在で4万6千件以上あり、現在のデンタルインプラントの需要を考慮するとその数字は当然と考えられる。それらの研究では、インプラントの予後、骨移植、清掃法、補綴方法、補綴精度、上部構造材料、インプラント周囲炎など、様々なものが研究されてきている。そして、インプラント生存率の向上には、インプラント体の表面性状、手術器具、人工骨およびメンブレンなどのインプラント治療にまつわる材料特性の向上が大きく関与していると考えられる。しかしながら、インプラント周囲炎に対する臨床処理の変化は、それほど変わっていないのが現状である。インプラント周囲炎の発生機序は、細菌学的要因と力学的要因とに考えることができる。細菌学的要素によるインプラント周囲炎の原因として、患者の口腔衛生状態は非常に大きな割合を占めていると考えられる。しかしながら、どんなに患者が口腔衛生状態を良好に保っていても、インプラント周囲のセメントの残存や、上部構造のミスフィットによるインプラント周囲炎は予防することができず、これらは医原性のインプラント周囲炎と考えられる。現在のインプラント治療において、適合や審美性などの全ての要件を叶えることが出来る補綴物は存在しない。ジルコニアフレームは、審美的で強度が高いため、近年インプラント補綴には多く使用されているが、破折した時のリカバリーや、ミスフィット時の鑑着は当然行うことは出来ない。ジルコニアフレームの製作は、シリコーン印象を行い、石膏模型を作成し、ワックスパターンをデスクトップスキャナーで読み込んだものを基に、ジルコニアブロックのミリングを行い、最終焼成を行う。シリコーン印象での誤差、石膏模型での誤差、スキャン時の誤差および焼結による収縮といったように、これらの作業は誤差の連続が行われる。このように製作された補綴物が、粘膜封鎖性の弱いインプラント周囲組織にダメージは与える可能性は否定することは出来ない。

今回、インプラント周囲炎症例やインプラントに関するトラブル症例に焦点を当て、それらの症例を考察していく。

学会ホームページからオンラインでお申込みください。

講義は13:00～より実施致します。昼食はお済ませいただきご来場ください。

**申込  
方法**

	ISOI会員		会員同伴の 非会員1名
	事前申込	当日申込	
歯科医師	¥ 17,000	¥ 19,000	¥ 22,000
歯科衛生士	¥ 3,000	¥ 5,000	¥ 8,000
歯科技工士	¥ 3,000	¥ 5,000	¥ 8,000

本セミナーは事前参加登録を原則とさせていただいております。

当日受付の場合、お席がない可能性がございます。

**オンライン不可の場合のお申込み**



参加申し込みは

左のQRコードをスマートフォン又はケータイから  
読み込むことで直接お申込みページにアクセスできます。

kokusai-implant.jp

検索

事前申込  
入金締切 2月26日(金)

LINE@  
はじめました。



最新情報など  
配信予定

ふりがな  
お名前

(会員)  歯科医師  
(会員)  衛生士  
(非会員)  技工士

所属先(貴法人又は貴院名)

〒  
ご住所

(所属先) (ご自宅)

TEL

( )

FAX

( )

個人メールアドレス(必須)

お問い合わせ 国際口腔インプラント学会 事務局  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋府川ビル2階  
TEL:03-6892-1895 E-mail: isoi\_secretariat@nta.co.jp

FAX

FAX  
24時間  
受付

03-6892-1830